

《 議題 》

I 開会 自己紹介

II 制度の概要

III 実施事業の検証 (1) 実施結果 (2) 効果検証と評価

IV 閉会

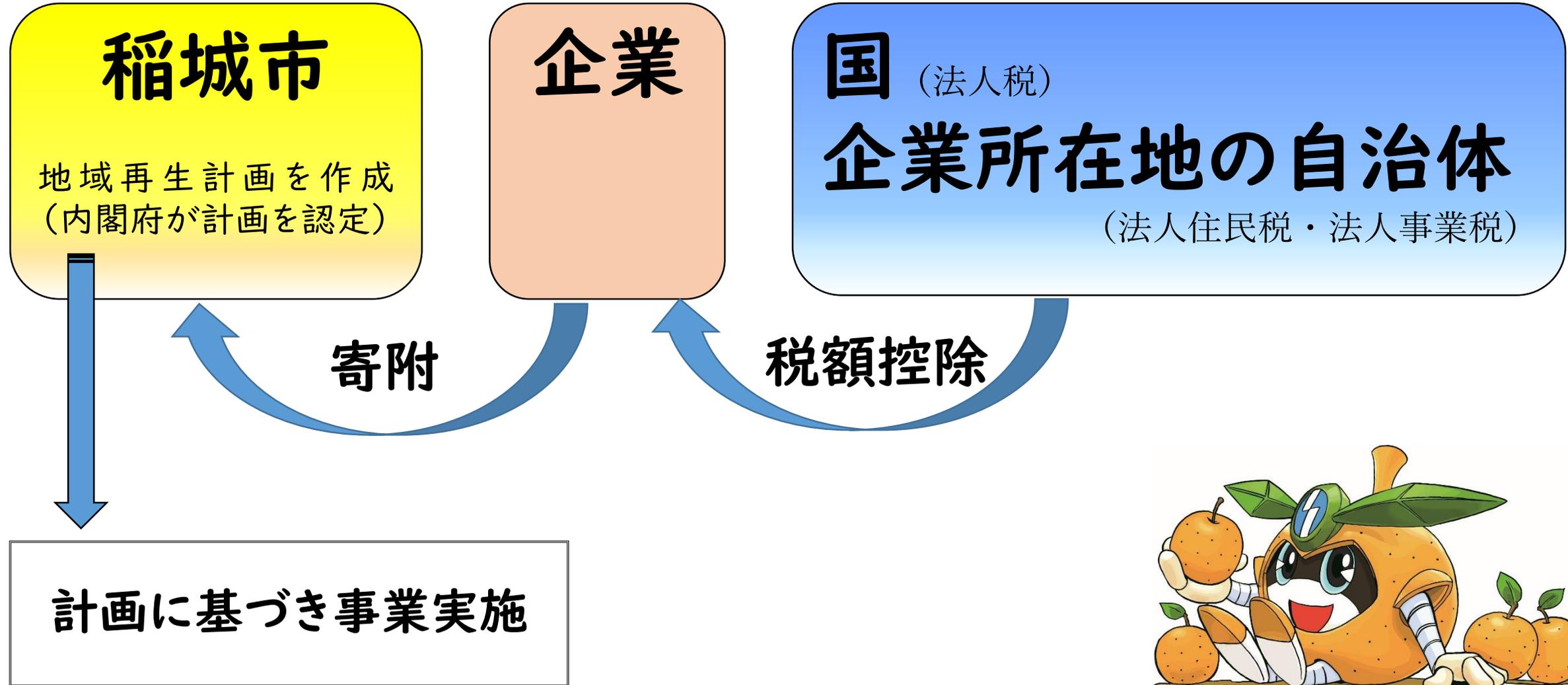


《 出席者 》

	氏名	備考
委員 (50音順)	丹間 康仁	千葉大学 教育学部 准教授
	福島 康仁	日本大学 法学部 教授
	山口 敦人	特定非営利活動法人iクラブ 理事
事務局	飯塚 史生	企画政策課長
	膳 崇訓	企画政策課 企画政策係長
	加來 遼平	企画政策課 企画政策係
補助説明員	高橋 達也	指導課長
	伊藤 まどか	指導課 指導係長



I 企業版ふるさと納税を活用した事業スキーム



2 企業版ふるさと納税

(1) 制度の趣旨と概要

地方創生の取組をさらに加速化させていくためには、地方公共団体が民間資金も活用して、地方創生に関連した事業を積極的に実施していく必要があります、当該事業に対する法人の寄附を促す制度が創設された。

国（内閣府）により認定された『地域再生計画』に記載された事業に関連し、企業が寄附を行った場合に、法人税等の税額控除の特例が適用される。（本税制の適用期限である令和6年度まで）

(2) 地域再生計画と対象事業

○地域再生計画の認定申請を行うのは、都道府県又は市町村

【稲城市の場合】

地域再生計画の名称：稲城市まち・ひと・しごと創生推進計画

認定日：令和4年7月8日

○地域再生計画に記載された事業であり、企業から寄附を受け、

- ・ 実施状況に関する客観的な指標（KPI）の設定
- ・ 評価方法（PDCAサイクル）の整備 ⇒ 行政以外の第三者による評価により、効率的かつ効果的に実施される事業が対象



3 稲城市まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）

(1) 基本目標とKPI

基本目標	KPI	現状値	目標値
1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする	稲城市を 従業地とする 15 歳以上の就業者数（総数）	24,435人	26,288人
2 稲城市への新しいひとの流れをつくる	1日あたりの流入人口	37,978人	40,478人
3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	合計特殊出生率	1.49	1.80
4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な稲城市をつくる	市民意識調査における 「住みやすさ」	88.7%	90.5%

(2) 計画期間

地域再生計画の認定日（令和4年7月8日）から令和7年3月31日まで



3 稲城市まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）

(3) 企業版ふるさと納税を活用して行う事業

基本目標	KPI	現状値	目標値
1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする	稲城市を 従業地とする 15 歳以上の就業者数（総数）	24,435人	26,288人

【具体的な事業の例】

- ・ 環境に調和した持続可能な農業の推進
- ・ 商店街活性化等と魅力的な商業空間の形成
- ・ 創業希望者・創業者・多様な働き方をする市民等への多面的な支援 等



3 稲城市まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）

(3) 企業版ふるさと納税を活用して行う事業

基本目標	KPI	現状値	目標値
2 稲城市への新しいひとの流れをつくる	1日あたりの流入人口	37,978人	40,478人

【具体的な事業の例】

- ・ 市内外への効果的な情報発信による魅力の認知度向上
- ・ 海外の姉妹都市との交流の推進
- ・ 多文化交流の推進 等



3 稲城市まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）

(3) 企業版ふるさと納税を活用して行う事業

基本目標	KPI	現状値	目標値
3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	合計特殊出生率	1.49	1.80

【具体的な事業の例】

- ・ 放課後の児童の健全育成事業への取組み
- ・ 子育て家庭・乳幼児への切れ目のない支援の充実
- ・ 児童虐待防止対策 等



3 稲城市まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）

(3) 企業版ふるさと納税を活用して行う事業

基本目標	KPI	現状値	目標値
4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な稲城市をつくる	市民意識調査における「住みやすさ」	88.7%	90.5%

【具体的な事業の例】

- ・ 公的医療機関としての役割の確保及び充実
- ・ 地域での高齢者の見守り体制の推進、支え合いの充実
- ・ 魅力ある公園づくり
- ・ スポーツ・レクリエーションを活用した魅力あるまちづくり 等



3 稲城市まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）

(4) 寄附金額の目安

2千万円（令和4年度～令和6年度累計）

※ あらかじめ、市立中学校の部活動で外部指導者を配置する事業を実施する予定があったことによる事業の歳出見込と寄附金収入見込から設定

4 企業版ふるさと納税の寄附実績（見込）

年度	件数	寄附受領金額
令和4年度（実績）	5件	14,600,000円
令和5年度（見込）	6件	10,350,000円
令和6年度（見込）		4,500,000円
計		29,450,000円



Ⅰ 令和4年度 実施事業の概要

(1) 事業概要

事業名	： 稲城市立中学校の部活動における外部指導者配置事業
目的	： 稲城市が受託者から専門的技術を持つ人材の提供を受けることにより、稲城市立中学校における教員の働き方改革及び部活動の持続可能な運営に資する
対象	： 稲城市立中学校（全6校）
実施方法	： 業務委託（委託先：株式会社クラブ活動支援）

(2) 委託内容

受託者は稲城市及び各学校と協議のうえ、部活動外部指導者を各校に配置し、部活動外部指導者は以下の業務を実施

- ① 放課後等における部活動の実技指導
- ② 安全・傷害予防に関する知識・技能の指導
- ③ 学校外での活動の引率
- ④ 生徒指導に係る対応
- ⑤ 事故が発生した場合の現場対応



Ⅰ 令和4年度 実施事業の概要

(3) 実施結果(委託実績)

中学校	部活動	人数	指導回数	指導時間
一中	サッカー部	1人	15回	36時間
二中	—	—	—	—
三中	バレーボール部(女子)	1人	35回	77時間
四中	サッカー部	1人	39回	88時間
五中	バスケットボール部(男子)	1人	29回	70時間
六中	バスケットボール部	1人	23回	47時間



Ⅰ 令和4年度 実施事業の概要

(4) 行政コスト

種別	科目	令和4年度実績	備考
費用	人件費	1,865,093円	年間の必要作業人工：正職員0.25人工
	物件費等（委託料）	1,272,000円	
	合計〔総行政コスト〕(a)	3,137,093円	
収入	その他(b)	1,272,000円	企業版ふるさと納税
純行政コスト(a-b)		1,865,093円	
人口		93,033人	令和4年4月1日時点の人口
市民一人当り税投入額		20円	



Ⅰ 令和4年度 実施事業の概要

(5) 事業成果

《成果指標 Ⅰ》 スポーツに関心を持つ生徒の比率

区分	現在値 (事業実施前)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	80.0%	90.0%	100%
実績	75.5%	75.9%		

(考察)

導入初年度ということもあり、まだまだ生徒に周知が行き渡っていなかったり、限定的な種目にしか指導者を配置できなかったり、スポーツへの関心に繋がるような成果には至っていない。今後は生徒のニーズに対してどのようにマッチングさせていくかが課題となる。



Ⅰ 令和4年度 実施事業の概要

(5) 事業成果

《成果指標 2》 部活動に満足している生徒の比率

区分	現在値 (事業実施前)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標	—	95.0%	97.5%	100%
実績	90.1%	83.2%		

(考察)

種目に対して技能技術を有する外部指導者を配置しているため、より専門的な技術指導を生徒に行っている。

生徒に寄り添った指導をしており、学校や生徒からの評判も良い。また、前体制の意向を汲み取るなど、生徒の環境変化に伴う負担軽減に努める配慮も行っており、部活動指導者として真摯に取り組んでいる。



Ⅰ 令和4年度 実施事業の概要

(6) 今後の課題

①スポーツ・部活動と生徒の関わり

運動部活動への関心の高さが見受けられる一方で、スポーツ全般への関心を抱けない生徒が一定数見受けられた。スポーツをとおした多様な人々との交流の中で人間関係の構築を図るほか、自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に繋がる「きっかけ」を生み出すことが求められる。

②教職員における負担軽減及び働き方改革との両立

少子化と学校教育員の働き方改革の進展に伴い、学校部活動を従前と同様の体制で運営することは難しくなっている。子どもたちにとって、より良い持続可能なスポーツ環境を整備するための施策を打ち出すことが求められており、教職員による運営中心の部活動から、地域・企業との振興の強化を図り、より持続性を担保した強靱な仕組みづくりに取り組むことで、生徒がスポーツに触れ、より満足度を感じられる部活動の構築に取り組む必要がある。



2 令和5年度以降の実施状況（稲城市立中学校の部活動における外部指導者配置事業）

《外部指導者の配置》

中学校	R5実績（R6も継続要望）	R6新規に配置要望
一中	サッカー部	バレーボール部
二中	陸上競技部	バレーボール部（女子）
三中	バレーボール部（女子）	ハンドボール部
四中	サッカー部 吹奏楽部	バレーボール部（女子）
五中	サッカー部 野球部	バスケットボール部 バレーボール部（女子）
六中	バスケットボール部 テニス部	陸上競技部 剣道部

